



一級河川 鶴見川 (鶴見川水系)

恩廻公園調節池

洪水調節施設(地下トンネル)

6 アクセス・問合せ

恩廻公園調節池管理棟

〒215-0022 川崎市麻生区下麻生 3-1-1

利用時間: 午前8時30分から午後5時まで

休館日: 月曜日・年末年始 (ただし月曜日が祝日の場合は翌日)

恩廻公園調節池の紹介ページ



トンネル
内の施設
見学は



調節池カードを管理棟で配布中



調節池カード



管理棟



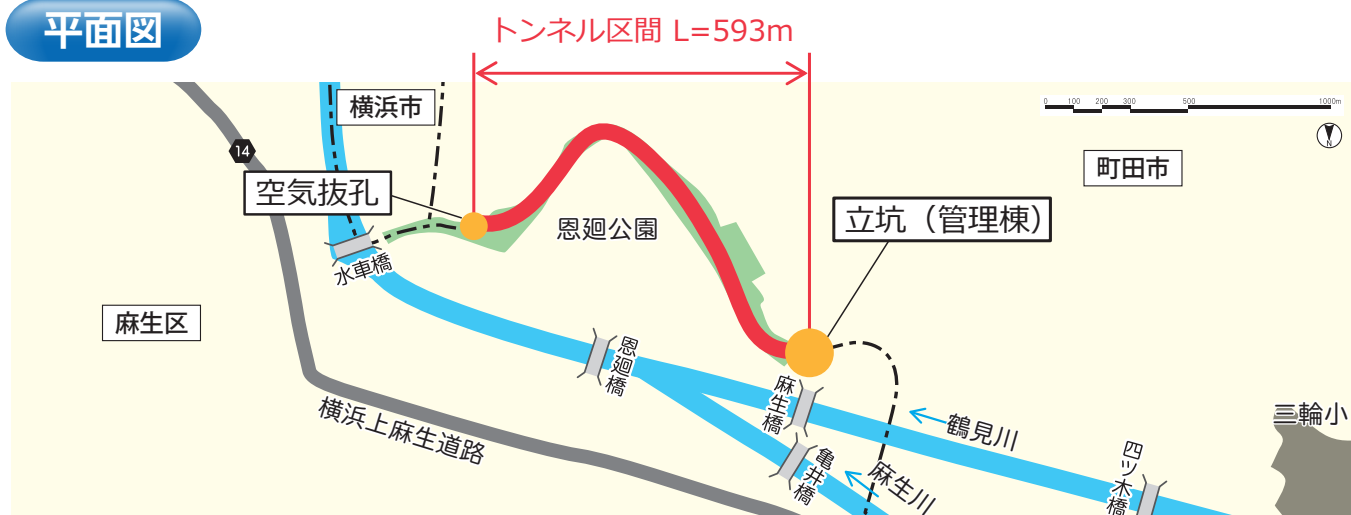
展示室



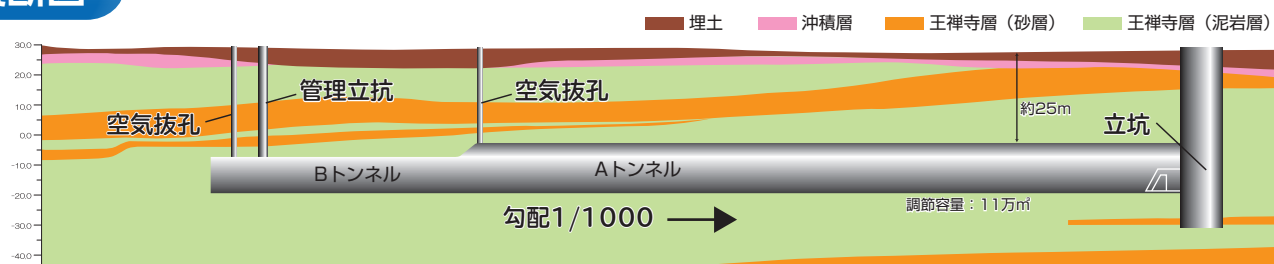
令和7年(2025年)10月撮影

おん まわし こう えん ちょう せつ ち 恩廻公園調節池について

平面図



縦断図



1 概要

鶴見川流域では都市化が進み、大雨が降ると水は一気に川に流れ込むようになり、洪水被害の危険性が高まりました。そのため、公園（旧河川敷）の地下にトンネルを設置して、洪水を一時的に貯める施設を整備し、平成15年度（2003年度）に運用を開始しました。

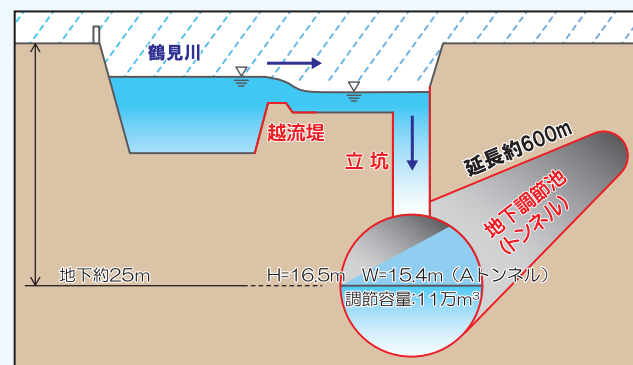
2 調節池データ

- 河川名：一級河川 鶴見川
- 所在地：川崎市麻生区下麻生三丁目他
- 事業期間：平成5年度（1993年度）～平成15年度（2003年度）
- 施設計画諸元

施設	諸元
トンネル形式	地下トンネル形式
施工方法	NATM工法
調節容量	11万 ³ m
トンネル寸法	H=16.5m W=15.4m (Aトンネル) H=11.4m W=14.3m (Bトンネル)
トンネル延長	593m

3 洪水調節の仕組み

- 流入の仕組み
水位が上がった時、水が越流堤を超え、立坑を通じて地下調節池（トンネル）に貯まります。
- 流出の仕組み
水位が下がった後、貯めた水は立坑からポンプで再び川へと戻します。



流入イメージ

4 施設紹介

①越流堤

周りの堤防より高さを低くした堤防で、洪水時に川の水を越流させ、調節池に水を流し込みます。



②取水庭

越流堤を超えた洪水は、取水庭に流れ込みます。取水庭には、洪水に含まれる土砂などを沈殿させ、立坑内に流れ込む水を緩やかにする役割があります。平常時は公園として地域の方々に利用されています。



③流入ゲート・除塵機

取水庭に貯まった水は、流入ゲートから地下へ流れ込みます。水と一緒に流れ込む木やごみなどは、除塵機により取り除きます。



④ウォーターシュート

流入ゲートから入り立坑を通った水は、地下7階からトンネル内に流れ込み、一定の水位を超えると、地下5階のウォーターシュートからトンネル内へ流れ込みます。



⑤トンネル

流入ゲートから流れ込んだ水は地下トンネルに貯まります。1時間あたり50mmの雨が降ると、84分で満水になります。



⑥ポンプ

トンネルに貯まった水は鶴見川の水位が下がった後、立坑からポンプによって、川へ戻します。トンネルが満水になった時、立坑から川へ水を戻すには48時間（2日間）かかります。

⑦車両リフト

トンネル内の補修などに使用する工事用車両などを乗せるエレベーターです。立坑の中を地上1階から地下7階（約42m）まで移動できます。

